



天神さんの源流

信仰と名宝



京都文化博物館開館30周年記念
京都文化力プロジェクト2016-2020

北野天満宮

◆ 関連イベント

① 特別講座 北野天満宮 信仰と名宝展に寄せて

登壇者：橋重十九氏(北野天満宮宮司)
松原史氏(北野文化研究所室長)
日時：2019年2月23日(土) 10:30~12:00
場所：京都文化博物館
3階フィルムシアター(定員170名)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

② 講演会 北野天満宮のアーカイブス

講師：藤井譲治氏(京都大学名誉教授)
日時：2019年3月23日(土) 10:30~12:00
場所：京都文化博物館
3階フィルムシアター(定員170名)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

③ シンポジウム 北野天満宮の歴史と信仰

登壇者：竹居明男氏(同志社大学名誉教授)
菅野扶美氏(共立女子短期大学教授)
佐々木創氏(京都造形芸術大学非常勤講師)
日時：2019年4月2日(火) 13:30~16:30
場所：京都文化博物館 別館ホール(定員200名)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

学芸員によるギャラリートーク

2019年3月1日(金)、8日(金)、15日(金)、22日(金)、29日(金)
※各日とも18:00から30分程度、展示室内にて行います。
※事前申込不要、当日の入場者に限ります。

◆ チケット

入場料	一般	大高生	中小生
当日	1,400円	1,100円	500円
前売/団体	1,200円	900円	300円

ペアチケット

2,200円(前売り)期間中販売、一般のみ)

- ※未就学児は無料。(要保護者同伴)
- ※前売券は2018年12月3日(月)から2019年2月22日(金)まで販売。(会期中は当日券のみ)
- ※障害者手帳等をご提示の方と付き添い1人までは無料。
- ※学生料金で入場の際には学生証をご提示ください。
- ※上記料金で、2階総合展示と3階フィルムシアターもご覧いただけます。

【主な入場券販売所】

京都文化博物館、チケットぴあ(Pコード769-363)、ローンチケット(Lコード53873)、セブンチケット、イープラス、CNプレイガイドほか、主要コンビニエンスストア

④ 天正・昭和 ふたつの大茶湯—茶道史

講師：太田宗達氏
1957年京都生まれ。島根大学農学部卒業。京都工芸繊維大学大学院博士課程修了。工学博士。株式会社有斐堂代表理事。専門は認知工学、茶道文化史。著作に『源氏物語と菓子』(叢書院)『茶道のきほん』(メイツ出版)、『平成のちゃかほん』(淡交社)ほかがある。NHK「きょうの料理」、「ようこそ先輩」、「美の壺」ほか出演多数。

日時：2019年3月30日(土)
1回目 13:30~15:30
呈茶 13:30~14:00
講演 14:30~15:30
2回目 14:30~16:30
講演 14:30~15:30
呈茶 16:00~16:30

場所：京都文化博物館 6階和室
参加費：1,000円(生菓子・呈茶付)
※参加費のほか本展覧会入場券(半券可)が必要
定員：各回50名
※申込の際ご希望の回をご記入ください。

◆ 音声ガイド(貸出料:550円)

本展では声優・花江夏樹さんがみなさんをナビゲート！
展覧会とあわせてお楽しみください。



【プロフィール】
神奈川県出身。「刀剣乱舞-ONLINE-」(擬切役)、「東京喰種」(金木研役)、「四月は君の嘘」(有馬公生役)、「ピアノの森」(雨宮修平役)、「カードキャプターさくら クリアカード編」(ユナ・D・海渡役)など多くのアニメ、ゲームで声優として活躍。また、「おはスタ」(テレビ東京系列)でメインMCを務めるなど多方面で活動中。

展覧会と天神さんをぐるっとバス

展覧会の期間中に北野天満宮の梅苑、宝物殿と一緒に楽しめるセット券です。
有効期間：2019年2月23日(土)~3月17日(日)

当日券 [販売期間：2019年2月23日(土)~3月17日(日)まで]	
一般	2,600円
大高生	2,100円
中小生	1,050円

前売券 [販売期間：2018年12月3日(月)~2019年2月22日(金)まで]	
一般	2,400円
大高生	1,900円
中小生	850円

※お得なセット券は[主な入場券販売所]および北野天満宮にて販売。ただし、京都文化博物館と北野天満宮は「一般」のみ取扱。

⑤ 水墨画ワークショップ 天神様を描こう

講師：村田隆志氏(大阪国際大学准教授)
日時：2019年3月10日(日) 10:30~12:00
場所：京都文化博物館
3階展示室内 やすらぎコーナー(定員15名)
対象：小学生以上
参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

⑥ 歴史散策 北野を歩く

講師：西山剛氏(京都文化博物館学芸員)
森道彦氏(京都文化博物館学芸員)
日時：2019年3月2日(土) 13:30~
場所：北野天満宮界わい各所
参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)



< 関連イベント①~⑥の申込方法 >
往復はがきに住所、氏名(返信面にも)、電話番号、希望イベント名・番号を記入し、京都文化博物館「北野天満宮展」係へ。または、京都文化博物館ホームページ「特別展イベント申込フォーム」から申込み。
https://www.bunpaku.or.jp/exhi_special/form/



- 地下鉄「烏丸御池」駅下車、5番出口から三条通を東へ徒歩約3分
- 阪急「烏丸」駅下車、16番出口から高倉通を北へ徒歩約7分
- 京阪「三条」駅下車、6番出口から三条通を西へ徒歩約15分
- JR・近鉄「京都」駅から地下鉄へ
- 市バス「堺町御池」下車、徒歩約2分

THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
URL <http://www.bunpaku.or.jp>



2019 2.23(土) - 4.14(日)
前期 = 2.23(土) - 3.17(日) 後期 = 3.19(火) - 4.14(日)
◆ 開室時間 = 午前10時~午後6時 ※金曜日は午後7時30分まで(入場はそれぞれ30分前まで)
◆ 休館日 = 月曜日
◆ 主催 = 京都府、京都文化博物館、京都新聞、日本経済新聞社、朝日放送テレビ
◆ 共催 = 北野天満宮
◆ 後援 = (公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都



北野天満宮 梅苑公開

全国でも屈指の梅の名所、京都の北野天満宮梅苑。およそ50種、1500本の梅が色とりどりに咲き誇ります。お得な梅苑と特別展のセットチケットもございます。展覧会とあわせてお楽しみください。

- * 期間：2019年2月上旬~3月下旬 (梅の見ごろに合わせて公開)
- * 入苑料：大人(中学生以上)800円 小人(小学生以下)400円(茶菓子つき)
- * 交通：京都駅から市バス50・101系統、円町駅より市バス203系統、京都文化博物館より市バス51系統「北野天満宮」前下車すぐ
- * 2019年2月22日(金)~3月17日(日)の金・土・日曜日は日没~午後8時までライトアップを実施予定
- * お問い合わせ 北野天満宮 電話 075-461-0005
- * 梅苑公開時期等は決定次第HPにて発表いたします。



梅苑ライトアップ



北野天満宮三光門と梅



平安時代の政治家・漢学者・漢詩人・歌人であった菅原道真公は、死後、天満大自在天神として崇められて、現在に至るまで「天神さん」「天神さま」として親しまれています。全国で一万数千社の天神社(道真公を祀る神社)が存在しますが、京都の北野天満宮は総本社として知られています。

天神信仰に関する展覧会はこれまでも行われてきましたが、北野天満宮そのものを取り上げたものは多くありません。北野天満宮が培った長い歴史は、人々の崇敬の歴史といえるでしょう。時代ごとのさまざまな願いを反映し、北野天満宮には複雑・多様な信仰世界が構築されました。

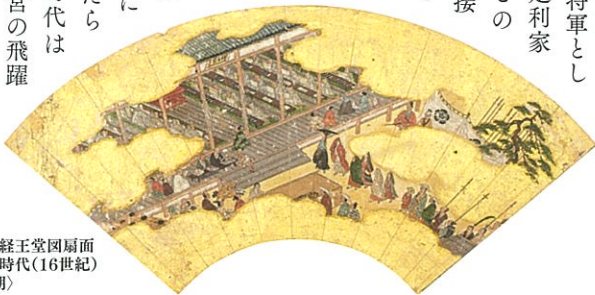
本展覧会では、北野天満宮が所蔵する神宝を中心に、ゆかりのある美術工芸品、歴史資料を一室に集め、そこから浮かび上がる神社とその信仰のあり方を展覧いたします。

1 菅原道真 — 人として —

大宰府への左遷の後、非業の死を遂げた菅原道真公。では彼は一体どのような人物だったのでしょうか。第一章では、平安時代の朝廷社会の中で輝きを放った人間菅原道真公の姿に迫ります。

4 室町時代の北野天満宮

室町時代、幕府將軍として政権を握った足利家は、北野天満宮との関係を重視し、密接な関係を作り上げました。各国の莊園を寄進することで安定した財源を与え、また酒麴商売においては天満宮に所属する西京神人に独占を認め、彼らに莫大な利益をもたらしました。室町時代はまさに、北野天満宮の飛躍の時代だったのです。



北野経玉堂図扇面 室町時代(16世紀) <前期>

足利家との密接な関係



酒屋・土倉等請文(部分) 室町時代 応永33年(1426) 北野天満宮蔵 <通期>

2 天満宮創建

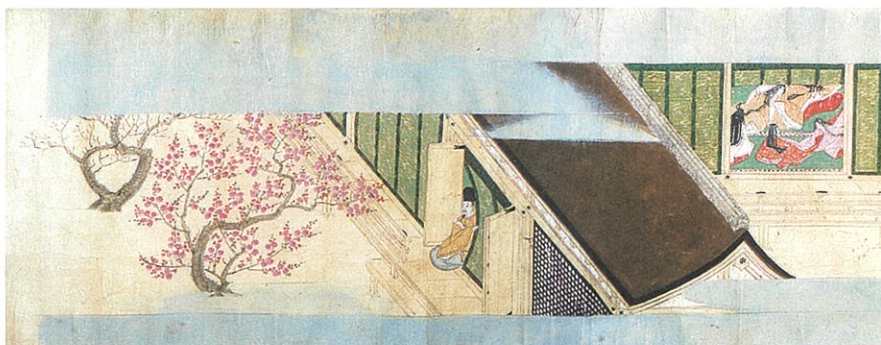
北野天神縁起は神となっていく菅原道真公をめぐる壮大な物語です。これに絵を加え、巻物に仕立てたものが北野天神縁起絵巻で、承久本(国宝)は根本縁起とよばれる屈指の名作です。天満宮が所蔵する数々の北野天神縁起絵巻を紹介しながら菅原道真公の激動の生涯と創建される北野天満宮の姿を追います。

天満宮秘蔵の縁起絵巻一挙公開

国宝 北野天神縁起絵巻(承久本)



第六巻(部分) 鎌倉時代(13世紀) 北野天満宮蔵 <前期:第六巻,後期:第八巻・九巻>



重要文化財 北野天神縁起絵巻(部分) 土佐光信筆 室町時代 文亀3年(1503) 北野天満宮蔵 <前記:上巻・中巻,後期:下巻>

3 北野にみる神と仏

前近代の北野天満宮は、神と仏が同時に祀られる神仏習合の地でした。明治時代に実施された神仏分離政策により、その世界観は後景に退きましたが、北野天満宮に根付いた神仏習合の様相は、今も数々の遺品からうかがえます。



東帯天神像(根本御影) 鎌倉時代(13世紀) 北野天満宮蔵 <前期>



重要文化財 鬼神像 平安時代(9世紀) 北野天満宮蔵 <前期:①②,後期:③④>

6 天満宮改造

豊臣家と北野天満宮

戦国時代の苦境にあった北野天満宮に再び活力を与えたのが豊臣家でした。秀吉は天正十五年(一五八七)に天満宮一帯で大規模な茶会を行うことで、あらためて北野の地域に光をあて、息子の秀頼は母・淀とともに天満宮に保護を加え、慶長十二年(一六〇七)に大規模な社殿改修を行いました。国宝に指定されている現在の天満宮の社殿は、この秀頼の大改修のものを基礎としています。

7 再生・北野天満宮

神と結ぶ — 奉納品の数々 —

天皇や將軍をはじめ庶民に至るまで、北野天満宮は幅広い階層の尊崇を集めてきました。江戸時代に入り、北野界隈が芸能や遊興の中心地となるにつれ、その性格は層強まり、人々から親しまれる聖地となりました。

天満宮に集う人々は、絵馬や累代の家宝を奉納し、様々な神との結縁を祈りました。かれらの願いの形ともいえる奉納品の数々は、今も大切に保管され、輝きを放っています。



海北友松筆 雲龍図屏風(左隻) 桃山時代(17世紀) 北野天満宮蔵 <後期>

萬燈祭

永遠の信仰

北野天満宮には、社殿修理を行う遷宮式年祭があります。御神体を拜殿から仮殿に移し、数年をかけて屋根の葺き替えをします。社頭に多くの燈明をかかげて神を慰めることから「萬燈祭」(万燈明会)という名称を持ち、少なくとも四百年以上の長きに渡り開催されてきました。今では菅原道真公の忌年を基準に、五十年毎に「大萬燈祭」、二十五年毎に「半萬燈祭」がもたれています。

平成十四年(二〇〇二)に大萬燈祭が催行されてから、まもなく二十五年。二〇二七年には、半萬燈祭を迎え、新たな歴史を紡ぐこととなります。

秘められた儀式をひもとく

5 祭礼と神事

北野天神信仰の中核として、繰り返して行われる祭祀行為が挙げられます。毎年八月四日を式日として行われていた北野祭は、朝廷が主催する勅祭であり、神輿は華麗に飾られ、人々の注目を集めました。また御手水神事(現在の御手洗祭)は、北野天満宮の根本神事であり、秘蔵の硯を介して神の存在を思う秘儀でした。古来より連綿と続いてきた神事は、神の力を再生させる行為でした。



松風観・梅松時絵硯箱 江戸時代 元禄17年(1704) 北野天満宮蔵 <通期>



北野祭礼図絵巻(部分) 江戸時代(17世紀) 北野天満宮蔵 <前・後期で場面替>

信仰の光、至宝の数々